

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解

科目コード：120111

疾病・障害論Ⅳ（母子）

Obstetrics and Gynecology Maternal and Child Health

担当教員	朝本 明弘 小泉 晶一				
実務経験					
開講年次	2年次通年	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords					
学習目的・目標	【オムニバス方式】（母性・朝本明弘） 母性看護に特徴的な疾病の原因、臨床症状、診断・治療方法について理解する。（小児・小泉晶一） 1. 胎生期を含め新生児、乳幼児、学童、思春期、そして成人までの小児の成長と発達を理解する。 2. 先天性、遺伝性疾患をはじめ成長途上にある小児の疾患について、基礎的臨床医学知識を習得する。 3. 内科的疾患のみならず、外科あるいは関連各科も含め小児特有の疾患を理解する。 4. 小児科は臓器別診療科ではなく、小児をトータルで診る総合診療科であることを理解する。				
授業計画・内容					
回	内容	回	内容		
	(母性)		(小児)		
1	女性生殖器の機能と異常 性周期と月経異常	1	発達・発育と栄養		
2	妊娠・分娩・産褥のメカニズム 、母乳育児	2	遺伝性疾患、染色体異常、 奇形新生児、先天性代謝異常		
3	妊娠・分娩・産褥の異常① 遺伝と出生前診断、異常妊娠	3	代謝疾患 内分泌疾患		
4	妊娠・分娩・産褥の異常② 異常分娩	4	感染症		
5	妊娠・分娩・産褥の異常③ 異常産褥、不妊と生殖補助医療	5	アレルギー疾患、免疫疾患 膠原病および類縁疾患		
6	女性生殖器疾患の診断と治療 卵巣嚢腫・子宮筋腫・子宮頸がんなど	6	呼吸器疾患		
7	性感染症（STD）とHIV/AIDS	7	循環器疾患		
8	まとめ	8	消化器疾患		
		9	腎泌尿・生殖器疾患		
		10	血液・造血器疾患 腫瘍性疾患		
		11	神経・筋疾患、精神疾患、虐待 など		
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ「小児看護学 [2]・小児臨床看護各論」「成人看護学 [9] 女性生殖器」（医学書院） 森恵美他：系統看護学講座 母性看護学 [2] 母性看護学各論 (医学書院)				
参考図書等					
評価指標	定期試験(100%)で60点以上を合格とする。				
関連科目					
教員から学生への メッセージ	こどもを理解し、こどもを好きになってもらいたい。 まずは身内や近所の子どもを今まで以上に注目して観察し、子どもの成長、発育、発達に関心を深めてもらいたい。				